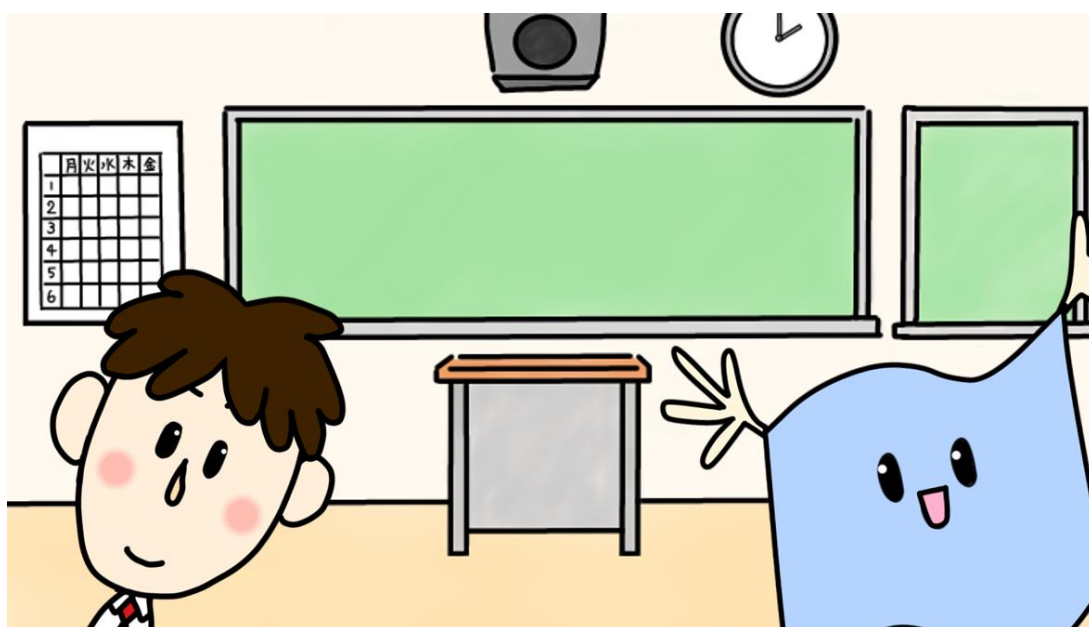


『交流及び共同学習サポートガイド』

学級担任向け資料

(PDF編)



宮城県総合教育センター
特別支援教育研究グループ

令和6年度

目次

はじめに

「交流及び共同学習サポートガイド」について

- (1) 交流及び共同学習サポートガイドとは・・・・・・・・・・2
- (2) 交流及び共同学習サポートガイドの構成・・・・・・・・・・2
- (3) 全教職員向け研修動画について・・・・・・・・・・3
- (4) 学級担任向け資料について・・・・・・・・・・4・5

I. 「ひきつぐ・はじめる」

- 1. 年度末から年度始めの流れ・・・・・・・・・・6
- 2. 教職員間の連携
 - (1) 全教職員の共通理解・・・・・・・・・・7
 - (2) それぞれの役割（例）・・・・・・・・・・7
 - (3) 共有しておきたいこと・・・・・・・・・・8
- 3. 準備チェックシート（特別支援学級担任向け）・・・・・・・・9・10

II. 「つなぐー宮城県内の好事例集ー」

「つなぐー宮城県内の好事例集ー」の見方・・・・・・・・11

1. 組織的な課題に対する好事例

- (1) 教職員間の意識の差・・・・・・・・・・12
- (2) 教職員間の連携・・・・・・・・・・13
- (3) 交流学級での様子の共有・・・・・・・・・・14
- 教えて！インクルン①「交流学級で記録・共有すること」～授業に関して～15
- (4) 交流学級の急な予定変更・・・・・・・・・・16

2. 授業実践上の課題に対する好事例

- (1) 特別支援学級の児童への支援体制・・・・・・・・17
- (2) 交流学級での支援の工夫・・・・・・・・・・18
- (3) 学習中の友達との関わり・・・・・・・・・・19
- (4) 評価・・・・・・・・・・20

3. 児童に関する課題に対する好事例

- (1) 交流学級の児童による特別支援学級の児童の理解・・・・・・・・21
- 教えて！インクルン②「障害ってなんだろう」・・・・・・・・22
- (2) 交流学級の児童と関わる力を高める工夫①・・・・・・・・23
- (3) 交流学級の児童と関わる力を高める工夫②・・・・・・・・24
- (4) 交流学級に行きたがらない場合・・・・・・・・25
- (5) 交流学級の児童との実態の差・・・・・・・・26
- (6) 交流学級でのトラブル・・・・・・・・・・27

「交流及び共同学習サポートガイド」について

（１）交流及び共同学習サポートガイドとは

交流及び共同学習サポートガイドは、交流及び共同学習に関する宮城県内の先生方の現状を調査し、小学校における通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習の実施をサポートすることを目指して作成しました。交流及び共同学習が、障害のある児童と障害のない児童、双方にとって有意義な学習になるよう、多くの先生方に活用していただければ幸いです。

（２）交流及び共同学習サポートガイドの構成

「交流及び共同学習サポートガイド」は「全教職員向け研修動画」と「学級担任向け資料（PDF 編と動画編）」の2つで構成されています。

登場人物の紹介

■コマツ・ターナー先生



僕の名前は「コマツ・ターナー」。
教員になって4年目、初めて特別支援学級の担任になりました。交流
及び共同学習を進めたいけれどもうまくいなくて…。
はあ～困ったなあ…困ったなあ…。

■インクルン



僕の名前は「インクルン」。
宮城県のインクルーシブ教育システム推進のためにやってきた、みんなを優しく包む布の妖精だよ。「困ったなあ…」って声の方に進んでいたら、コマツ先生にたどり着いたんだ。

■ハットリ・カイ先生



私の名前は「ハットリ・カイ」。
教員になって8年目、コマツ先生の学級の児童の交流学級を担任している。交流及び共同学習は特別支援学級の児童のための学習だと思っていたら…インクルンに「ハッ！！」とさせられる毎日さ。

(3) 全教職員向け研修動画について

① ねらい

- 交流及び共同学習の意義・目的や組織的に取り組むことの重要性を知る。
- 交流及び共同学習が児童にとって障害理解を深める機会となるよう全教職員が共通理解を図る。

② 特徴

- 動画は3本あります。1本あたり4～8分程度で視聴できます。
- 動画には演習も含まれており、教職員で協働的に学ぶことができます。



③ 使い方

- 学校の実情に合わせて柔軟に活用することができます。
全教職員で視聴（推奨）、個々で視聴、1回で全て視聴、3回に分けて視聴など。
- 全教職員で視聴する場合
演習が含まれる動画②と動画③は、演習の場面（「考えてみましょう」と文字が画面に出て、ナレーションが入ります）で一時停止し、「各自で書く時間」「小グループで共有する時間」「全体で共有する時間」などを適宜取り入れるようにしましょう。

④ 内容（サムネイル画像をクリックするとYouTubeサイトに移動します。）

動画①（約8分）

「交流及び共同学習の意義・目的」



交流及び共同学習の「基礎知識」「意義・目的」など、交流及び共同学習が「障害のある児童と障害のない児童、双方にとって大切な活動であること」を学ぶことができます。



動画②（約6分）

「チームとしての学校での取組」



演習を通じて、交流学級担任と特別支援学級担任、両方の立場から交流及び共同学習の課題について考えることで、課題解決に組織的に取り組むことや、教職員間の連携を強化するための仕組みづくりの重要性に気付くことができます。



動画③（約4分）

「通常の学級で意識するポイント」



演習を通じて、全ての児童にとって安心感のある学級にするために、教師が意識するポイントを学ぶことができます。



※動画②と動画③の時間は演習を除いた時間です。演習1つにつき、「各自で書く」を2分、「小グループで共有する」を3分、「全体で共有する」を1分として計算した場合、動画②が約18分、動画③が約10分です。

※研修会で使用するワークシートは、ダウンロードしてお使いいただけます。



ワークシート

(4) 学級担任向け資料について

① ねらい

- 児童の実態に応じた手立てや、児童同士がよりよく関わるための工夫を知る。
- 児童に合った支援を行えるようになる。
- 交流学級担任と特別支援学級担任が連携する。



② 特徴

- PDF編（本資料）と動画編があります。
- PDF編（本資料）は2つの章で構成されています。
 - I.「ひきつぐ・はじめる」では、年度末から年度始めまでの流れなどを掲載しています。
 - II.「つなぐー宮城県内の好事例集ー」では、県内から寄せられた交流及び共同学習の好事例を紹介しています。
- 動画編は7本あります。交流及び共同学習の基本知識、意義・目的やPDF編にある好事例などを、ポイントをまとめて紹介しています。1本あたり3～4分程度で手軽に視聴可能です。
- PDF編、動画編どちらも、全教職員の理解を深めるための資料としても活用可能です。



③ おすすめの使い方

- I.「ひきつぐ・はじめる」

初めて特別支援学級担任や交流学級担任、支援員になられた方は、こちらから読むことをおすすめします。

「それぞれの役割」「共有しておきたいこと」など、交流及び共同学習を実施するために大切な情報を掲載しています。関係する教職員との連携や交流及び共同学習の円滑なスタートのためにご活用ください。
- II.「つなぐー宮城県内の好事例集ー」

特別支援学級経験のある方は、こちらから読むことをおすすめします。

県内の先生方の困り事や悩みに対して、県内の先生方から寄せられた好事例を解決のヒントと一緒に紹介しています。交流及び共同学習の充実にご活用ください。

はじめに

④ 学級担任向け資料動画編の内容

(サムネイル画像をクリックするとYouTubeサイトに移動します。)

動画① (約3分)

「交流及び共同学習とは」



交流及び共同学習の基本について学ぶことができます。



動画② (約3分)

「交流及び共同学習の意義・目的 (前編)」



意義・目的を理解するために、インクルーシブ教育システムと共生社会について学ぶことができます。



動画③ (約4分)

「交流及び共同学習の意義・目的 (後編)」



交流及び共同学習の意義・目的を学ぶことができます。



動画④ (約4分)

「よりよい活動にするヒント」



交流及び共同学習をよりよい活動にするためのヒントを学ぶことができます。



動画⑤ (約4分)

「特別な支援を要する児童のスキル習得」



自立した生活を送るためのスキルをどのようにして身に付けさせるかを学ぶことができます。



動画⑥ (約3分)

「特別支援学級の児童が交流学級に行きたがらない場合」



児童が交流学級に行きたがらない場合の教師の対応例を学ぶことができます。



動画⑦ (約4分)

「引継ぎの重要性」



引継ぎの重要性や、引き継ぐ事項などについて学ぶことができます。

